

## ディスコグラフィー収載

### ディスコグラフィー【2025No.202】(HP 収載)

分類：LP

作曲家：ヨハン・シュトラウス 1 世他

曲名：自由行進曲 作品 226 他

演奏：リッカルド・ムーティ指揮ウィーンフィル

発売：SONY CLASICAL

No.：19802875611

概要：



毎年1月1日に行なわれるウィーンフィルのニューイヤー・コンサート。クラシック音楽の中でも最も有名で、ウィーンの誇る黄金のムジークフェラインザールからTVとラジオを通じて世界90カ国以上に放送され、5千万人が視聴するというビッグ・イベント。1939年に始まる75年以上の歴史を誇るこのコンサートでは、音楽の都ウィーンを象徴するシュトラウス一家のワルツやポルカが演奏されます。

ヨハン・シュトラウス2世生誕200年アニバーサリーの劈頭を飾る2025年は名実ともにクラシック音楽界の世界的巨匠リッカルド・ムーティがコロナ禍無観客公演だった2021年以来4年ぶり7度目の登場。1971年以来50年以上にわたって共演を重ね気心知れた巨匠のもとでのニューイヤーは大きな期待が膨らみます。

演奏曲目は定番の「美しく青きドナウ」「ラデッキー行進曲」などに加えて、19世紀に活躍した女性作曲家コンスタンツェ・ガイガーのワルツが含まれています。

(ソニーミュージック)

【収録内容】

第1部

ヨハン・シュトラウス 1 世：

1.自由行進曲 作品 226

ヨーゼフ・シュトラウス：

2. ワルツ「オーストリアの村燕」 作品 164

ヨハン・シュトラウス 2 世：

3.ポルカ・フランセーズ「城壁撤去」 作品 269

4. 「入り江のワルツ」 作品 411

エドゥアルト・シュトラウス：

5. ポルカ・シュネル「軽やかに、匂やかに」 作品 206

## 第 2 部

ヨハン・シュトラウス 2 世：

6. オペレッタ「ジプシー男爵」 序曲

7. ワルツ「加速度円舞曲」 作品 234

ヨーゼフ・ヘルメスベルガー 2 世：

8. オペレッタ「すみれ娘」から「愉快的仲間の行進曲」

コンスタンツェ・ガイガー：

9.フェルディナンドゥス・ワルツ（編曲：W.デルナー）

ヨハン・シュトラウス 2 世：

10. ポルカ・シュネル「あれかこれか！」 作品 403

ヨーゼフ・シュトラウス：

11. ワルツ「トランスアクツィオネン」 作品 184

ヨハン・シュトラウス 2 世：

12. アンネン・ポルカ 作品 117

13. ポルカ・シュネル「トリッチ・トラッチ・ポルカ」 作品 214

14. ワルツ「酒・女・歌」 作品 333

他 アンコール曲を収録予定

\*日本ヨハン・シュトラウス協会刊の『ヨハン・シュトラウス 2 世作品目録』（2006）、  
『ヨーゼフ・シュトラウス作品目録』（2019）に従っています。

〔録音〕2025 年 1 月 1 日、ウィーン、ムジークフェラインザールでのライブ・レコーディング

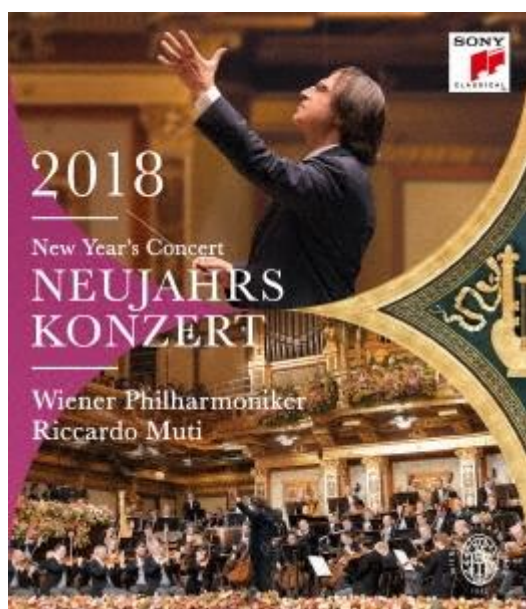
本盤の元の演奏の放送とその録画や E テレの配信とこれらの DSD 録音については、放送ストーリーミング情報(2025No.363)で報告済です。

今回の本盤の再生に際しては、これまでに実施してきた対策の効果の確認という意味もあります。最新の録音ですので、RIAA、正相、第 4 時定数 High で聴いていきます。聴き始めの 1 曲目から、レコードアンチスタティックの効果とともにアースアキュライザー経由の最近導入した仮想アース Crystal E-G の効果もあって、ウィーンフィル

らしい肌触りのよい弦や木管の美しさの中低域の厚みのある音で文句なしに楽しめました。

放送録画や E テレの配信からの DSD 録音も再生してみましたが、ステージ感の表現などは、アナログ盤再生には及ばないまでも、かなりの水準に達してきていることが分りました。

さらに 2018 年の同じくムーティ指揮のウィーンフィルのニューイヤー・コンサートのアナログ盤もありますので、これも聴いてみました。こちらの方も、レコードアンチスタティックが加わり、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしていること、Magic Mat II の使用、ZANDEN Model 120 の仮想アースを Crstal E-G に替えたことなどの効果で様変わりしており、自然なステージ感の情景を聴かせてくれています。



以上